



## ふっこう訓練通信

令和6年11月／発行：葛飾区都市整備部都市計画課（担当：田上・石塚）／電話：03-5654-8382

## 第1回 柴又地区震災復興まちづくり訓練を実施しました！

10月5日（土）14時から「柴又地区 第1回 震災復興まちづくり訓練」を開催しました。

ふっこう訓練通信第2号では、「第1回訓練」の様子をお伝えします！

当日の資料などは、区のホームページでご覧いただけます。

トップページ&gt;くらし・手続き&gt;安心・安全&gt;防災・国民保護&gt;震災復興まちづくり訓練について

ホームページへの  
アクセス  
はこちらから

## 今後の訓練スケジュール

会場：柴又地区センター 大会議室  
時間：14時～16時30分どなたでも  
ご参加いただけます！

## ▶第2回訓練 令和6年12月14日（土）「被災後の住まいの確保、復興方針を話し合おう」

※第2回訓練からでもご参加いただけます。ご興味のある方は裏面案内よりお申込みください。

※10/5の第1回訓練までにお申込みいただいた方は再度のお申込みは不要です。

## 第1回訓練（令和6年10月5日）「復興の手がかりを探そう」の概要

第1回訓練では、地域の方々にご参加いただき、「葛飾区の被害想定や地域協働復興」について学んだあと、柴又地区のまちの課題や復興時に残したい資源などについて、グループワークで話し合いました。

グループでの主な意見は裏面をご覧ください。



講義の様子

## (1) 講義 「葛飾区の被害想定と地域協働復興を知ろう」

- 葛飾区では、震度6弱から6強の首都直下地震が発生した時、死者283人、負傷者3,439人の被害が想定されています※。しかし、震災被害は直接被害だけではなく。熊本地震では地震の揺れ等による直接死に対し、日常生活を送れずに亡くなる「震災関連死」が全体の約8割と圧倒的に多くなっています。間接被害を防ぐためにも、速やかな復興が必要です。
- 被災状況にもよりますが、ライフライン・インフラの復旧目安は、[電気：1週間程度][都市ガス：1～2か月程度][上下水道：1か月以上][通信：2週間程度][鉄道：1か月以上][道路：1週間程度]となっています。
- 地域協働復興とは、地域の皆さんと行政が協働して復興に取り組む東京都と葛飾区の理念です。葛飾区では各町会・自治会が相互に被災生活に関する情報を共有し、話し合いを行う会のことを被災者生活支援連絡会と呼び、あらゆる分野の復興に向けて区などと連携することを想定しています。

※首都直下地震等による東京の被害想定（令和4年5月東京都公表、都心南部直下地震の場合）。

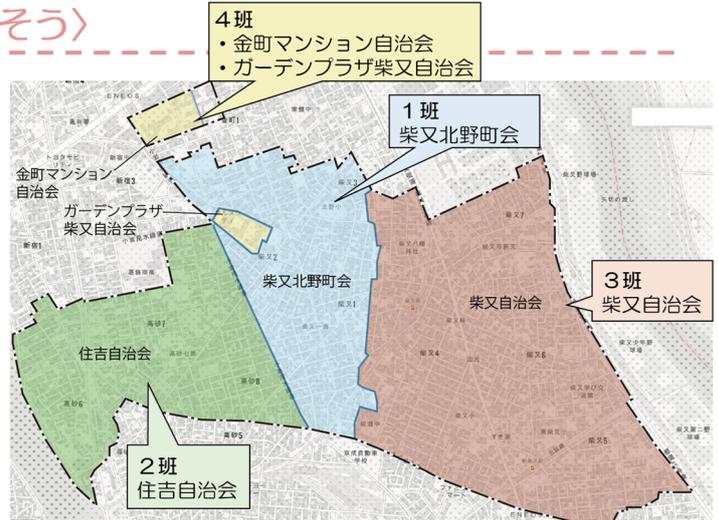
## (2) グループワーク〈復興の手がかりを探そう〉

参加者が、右図の4グループに分かれ、柴又地区で被害が予想される個所や、復興に必要であり、残していきたい復興資源について意見交換しました。

主なご意見は裏面をご覧ください。



発表とグループワークの様子



各班の主な意見は下記の通りです。

(資源【資】：復興後も残したいまちの資源など、課題【課】：復興時に支障となる課題など)

<b>1班</b>	<p><b>資</b>神社やお寺に緑が多いため、今後も緑をいかしたまちづくりを重視していきたい。</p> <p><b>課</b>拡幅工事により広い道路を整備すると、整備道路沿道の敷地所有者の土地が狭くなるのではないかと懸念する。</p>	<b>3班</b>	<p><b>資</b>水害時にマンションに一時避難できるような地域で声掛けをし合っている。</p> <p><b>課</b>地区内に車椅子で避難できる避難所が東柴又小しかない。普段から個々が公助に頼らず被災時に身の安全を守る対応を検討することが重要である。</p>
<b>2班</b>	<p><b>課</b>都立高校と協定を結び、緊急時は避難所として活用できるようにする必要がある。</p> <p><b>資</b>老朽住宅の密集エリアがあったが、近年、新築へ建て替えが進んでいる。</p> <p><b>課</b>地区内に公園や空き地が少なく避難所・避難できる場所が少ない。</p>	<b>4班</b>	<p><b>資</b>柴又八幡神社は、地盤が周辺より高いため、避難場所として活用できるのでは。</p> <p><b>課</b>昔は水路だった箇所の液状化被害が心配である。</p> <p><b>課</b>個人・民間所有の空き地を緊急時に活用できるよう事前に協定を結ぶ必要がある。</p>

### (3) 講評 東京都立大学 中林 一樹 名誉教授



講評の様子

葛飾区は、地形的に川に挟まれているため、液状化が非常に起こりやすい地盤です。液状化被害を受けた住宅は、傾きが1度つくると、かなり被害が大きい住宅とされます。液状化の被害は住宅だけでなく、道路などにも起こります。道路が被害に遭うと地面下に埋まっている上下水道管やガス管なども破損するため、ライフラインの復旧には1か月～2か月程度を要します。そのため、可能な限り1週間程度の飲料水や食料を備蓄しておくことが重要です。

地震被害では、在宅避難という選択肢もありますが、水害被害では避難指示が出ると多くの方が避難指定の施設に向かいます。人数に対し避難場所が足りなくなる可能性も考えられるため、大きな台風などが予報されている数日前に、被害のない地域へ、移動しておくことなども大切です。

命を落としてしまうと復興はありません。災害後生き延びた人だけが、どのように復興していくかを検討できます。支援が必要そうな方がいたら、周りがちょっと支援をしてあげてを平時から心がけておくと、災害時にも役に立つかもしれません。そのような考え方を「インクルーシブ防災」といいます。高齢化社会の現在、公助だけですべての人を助けることは不可能に近いです。インクルーシブ防災という考え方を皆さんが持つことで、平時のちょっとしたバリアも皆さんで乗り越え、災害時も乗り越えていただければと思います。

#### 【講評での質疑応答】

**Q** 水害発生時、マンションの1階は浸水する可能性があるため、マンション（居住者）と事前に協定を結び、浸水想定より上の階に避難できる体制を作るといってお話があったが、協定を結ぶためどのように居住者に声をかけると良いでしょうか。

**A** 自治会活動など、住民の方が集まった時に呼びかけを行えると良いです。「水害が発生した際、マンション1階部分は浸水の可能性があり、1階には高齢者が〇名ほど居住しています。高齢者だと避難所へ避難するにも負担がかかり、避難所も1階だと浸水する可能性があるため、水害の避難指示が出た場合は、1階の居住者が念のため一晩程度、浸水の可能性が低い階に避難できるような協力体制を築きませんか。」と、自治会長を中心に話し合いを行ったり、回覧で啓発等を行うなどの工夫ができると良いです。必ず全員に情報が届くよう、チラシなどを作成する際は、全員に配布しましょう。

#### 参加申込シート (FAX 送信用) **【申込締切】 11/29 (金)**

葛飾区 都市整備部 都市計画課 宛 FAX: 03-3697-1660

フリガナ  
お名前

連絡先 住所 〒

TEL

※託児サービスをご利用の方のみご記入ください

お子様の人数：                      ・ 性別：                      ・ 年齢



#### WEBでお申込みの方はこちら

二次元コードを読み、必須事項にご回答ください。  
※FAX 送付の方は必要事項をご記入のうえ、こちらの紙面をお送りください。  
※収集した個人情報には本訓練以外の目的で使用しません。

#### 当日は託児サービスをご利用いただけます。

託児サービスのご利用を希望する方は、お子様の「人数、性別、年齢」をご記入ください。

なお、託児サービスは、訓練会場ではなく「柴又憩い交流館 (柴又2-4-5 訓練会場の柴又地区センターから徒歩5分程度)」での実施となります。

※託児サービスは、1歳～10歳までのお子様だけに限りご利用いただけます。  
※申込後、区より確認の連絡をさせていただく場合がございます。